

歳出の主な経費

市のお金の主な使い道

新型コロナウイルス感染症関連事業

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 4億9,288万円
- 《物価高騰対策》
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急対策支援給付金給付事業 2億8,585万円
- 子育て世帯支援給付金支給事業 1億4,222万円
- 事業者支援給付金等 9,770万円
- キャッシュレス型消費活性化事業 8,546万円
- 学校給食費負担軽減事業 1,731万円 等

民生費 103億9,509万円



障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援のための経費

- 保育所関連 22億615万円
- 障がい者(児)福祉 16億6,062万円
- 生活保護 12億6,113万円
- 高齢者福祉 9億8,259万円
- 介護保険特別会計への繰出し 7億7,923万円
- 児童手当 7億6,538万円
- 国民健康保険特別会計への繰出し 4億933万円
- 後期高齢者医療特別会計への繰出し 1億6,429万円

公債費 23億4,415万円

借入金(市の借金)返済や、利息を支払うための経費

- 元金返済に要した経費 22億6,817万円
- 利息に要した経費 7,578万円

総務費 41億1,625万円

情報システム、徴税、選挙、財務事務などの経費

- 各種基金への積立(ふるさと応援基金【ふるさと納税】を除く) 10億4,990万円
- ふるさと応援基金への積立(ふるさと納税額から経費を差し引いた額を積立) 6億1,265万円
- ふるさと納税業務経費(返礼品等) 4億7,729万円
- 情報システム管理 1億8,440万円
- 税の徴収等にかかる経費 1億1,170万円
- 交通安全、防犯対策 6,642万円
- 選挙費 6,412万円
- 地域振興(自治会等) 5,557万円

衛生費 20億3,167万円



病気の予防や医療の充実、ごみ処理の経費

- 予防費(母子保健、健康診査、予防接種等) 7億8,854万円
- ごみ収集・処理 7億8,594万円

教育費 18億5,485万円



学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費

- 小学校管理 2億4,016万円
- 公民館管理運営 2億2,916万円
- 学校教育 2億2,709万円
- 小学校給食 1億8,320万円
- 中学校管理 1億5,018万円
- 図書館管理運営 1億3,261万円
- 文化センター管理運営 1億2,518万円
- 中学校給食 1億1,270万円
- 体育センター管理運営 7,400万円
- 野外活動センター管理運営 4,141万円
- 文化財保護 3,186万円



来年度予算への意見を募集!

土木費 17億7万円



道路、橋、河川、公園の整備、維持管理等まちづくりのための経費

- 道路維持 3億2,300万円
- 公共下水道 3億5,057万円
- 久保特定土地区画整理特別会計への繰出し 2億5,797万円
- 公園緑地 2億1,918万円
- 街路事業 6,660万円
- 道路新設改良 6,586万円

消防費 9億1,244万円

消防・防災活動のための経費

- 常備消防(県央広域事務組合への負担金) 8億2,466万円
- 非常備消防(消防団活動) 4,625万円
- 防災(備蓄品・防災訓練) 3,480万円

現在、来年度予算の作成を行っています。11月下旬から市ホームページで令和6年度の各部の予算要求状況を公表のうえ、意見を募集しますので、市ホームページをご覧ください。市ホームページをご覧にならない人は、財政課(庁舎2階)までお越しください。



財政課財政担当 ☎594-5512

健全な財政運営のもと、持続可能なまちづくりへ



北本市長 三宮 幸雄

北本市では、コロナ禍における物価高騰の影響下において、令和4年度は、子育て世帯や事業者に対する給付金の支給やキャッシュレス型消費活性化事業などを実施してまいりました。同時に、健全な財政運営を行うために策定した公共施設適正配置計画に基づき、旧栄小学校を市民活動交流センターとするための整備を推進しました。さらに、地域と行政が一体となり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことができる地域共生社会を実現するため、重層的支援体制整備事業などの取組を引き続き推進するとともに、市内外か

ら「住み続けたい」「住みたい」と愛着や好感を持たれる魅力あるまちづくりに向け、シティプロモーション推進事業を継続して取り組んでまいりました。

ポストコロナの時代に的確に対応し、本市の強みである地域資源を活かすとともに、安心して子育てができる環境や子どもの教育環境の充実に向けた取組のほか、ゼロカーボンシティ実現のための環境に配慮した取組などにより、持続可能なまちづくりを推進してまいります。

引き続きご理解とご協力をお願いいたします。